

特集号内容

2頁～3頁 鶴ヶ城天守
閣ここによみがえる
3頁 市長式辞から
4頁～5頁 写真特集
6頁～7頁 座談会
8頁 この日を待ちあぐ
さんで
9頁～10頁 第2市政だ
より

会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

204号

昭和40年10月1日発行

発行所 会津若松市

発行人 竹田 正夫

編集 広報係

定価 5 円

毎月1日・15日発行



として保存しましょう

天守閣竣工特集号

鶴ヶ城天守閣ここによみがえる

九十年の悲願結実

歓喜と感涙に包まれた式場

鐘撞堂の鐘がしずかに午後五時を告げた。花火が、重くたれこめた雨雲をつき破るかのようにな数発——天守閣落成式は、ここに始まった。

歴史きざむ緊張の一瞬

おごそかに落成式

走り長屋の一角に設けられた式場には、天守閣落成式典実行委員長である横山市長、岸議長始めとする市議会議員、工事担当の神部間組社長、設計指導の藤岡東工大教授など関係者五十名のほか、中村運輸大臣、木村知事および衆・参議員県会議員らも来賓として参列した。

走り長屋から天守閣に通ずる階段に張られた紅白のテープに、横山市長が緊張した面持ではさみを入れた。ひらめくカメラのフラッシュ・ライト、わきあがる歓声と拍手——それらは、まさしく本市の新しい歴史をきざむ瞬間であった。

引き続き参列者は、天守閣一階の中央に上つた。祭壇前に着席、雅楽が奏でられる中、神事がおごそかに進められ、修祓、降神の儀、祝詞、四方文を述べたが、その横顔には天守閣生みの親としての

田法用寺、光善隆像、高勝常寺、聖剛力士像、歴客がつめかけていた。

世紀の祭典開幕

横山市長感激の式辞

代会津領主の像、そして泰西王侯騎馬図と、会津のゆたかな歴史を物語る遺産を一堂におさめるこの城は、いまや私たちに、過去の代

九月十七日の前に大きく立ち上がったのは、台風二十四号であった。横山市長を委員長とする天守閣落成式典実行委員会の当初のプランは、招待者だけでなく、十万人市民の総参加による落成式の実現にあって、

九月十七日の前に大きく立ち上がったのは、台風二十四号であった。横山市長を委員長とする天守閣落成式典実行委員会の当初のプランは、招待者だけでなく、十万人市民の総参加による落成式の実現にあって、

九月十七日の前に大きく立ち上がったのは、台風二十四号であった。横山市長を委員長とする天守閣落成式典実行委員会の当初のプランは、招待者だけでなく、十万人市民の総参加による落成式の実現にあって、

会津精神の活用を

中村運輸大臣

ます。会津には魂があります。



今から九十八年前、鶴ヶ城を中心に三千の兵士が先輩から受けついで道徳を守り、郷土を守るという立場で大奮戦をしたという歴史、これは日本歴史の中の大きな一コマです。

鶴ヶ城をおおいで悲壮な最後をとげた白虎隊は若人の血をわかせ全国民の魂をよさぶる一つの歴史であり

九十年前を思い起す時

木村県知事

といえましよう。



私たちは長い間、天守閣跡や隅やぐら跡に立ち、こすえを渡る松風とともに、荒城の月影をしのび今日に及んだのでありますが、今ここに、在りし日の姿が再現されましたことは、まことに感慨無量のものがあります。

五層の天守にそびえるしろがねのしやちは、いま生きた。それ、

活の磐として、人々の血潮を宿し、人々に光と影を投げかけてきた。その意味で明治七年、時の政府のよしまな政策を露わにした取柄の命は、会津人にとりて戊辰戦争の敗北にもまが、会津市長の心情に共鳴するさる衝撃であったが、会津人の魂までは奪い去ることのできなかった。

この感激を永遠に

平和と繁栄のシンボルとして

山口建設部長、藤岡博士の苦心談を綴り込んだ、工

市民会館の前庭には、この輝かしい日を祝う市民が群がっていた。そこに設けられた市民御神酒場の鏡を

最良の出来栄え

東京工業大学教授

藤岡通夫博士

本日は会津の象徴とも思われる天守閣が落成しまし

白亜の天守がくもりと照らされてきた。たな感が、潮のように胸にこみ上げてくる。昭和四十年九月十七日は、私たちにあって、新しい歴史を開く記念すべき日となったといえよう。

会津の創造と飛躍の象徴

市長式 辞から

また天守閣が先人の霊を慰めし、遺徳を

考えました。本造でやるとよろしいんですが、現在の法律から高層なものを本造



鶴ヶ城の設計をさせていた



会津人の悲願ここに再現

松平参議院議員

復元の特異性を物語るものとして、ご同慶に堪えないところでありませう。

人の教訓として

星野在京会津会々長



東京の私の知人が、男の子二人をつれて、会津を訪れたことがあります。むろん裏磐梯の景色のよかったです。

私も天守閣復元が話題となりましたのは、昭和二十四年市制施行五十周年記念式典に臨んで、私が日本の歴史、特に会津の歴史における鶴ヶ城天守閣が果たした大きな役割を思ひ、また歴代領主、領民の心のよりどころであった鶴ヶ城天守閣の復元こそは、先人の霊を慰め遺徳を鎮仰することになると共に歴史の變遷を物語る唯一の貴重な資料として後世に残すべきであると提言してからです。

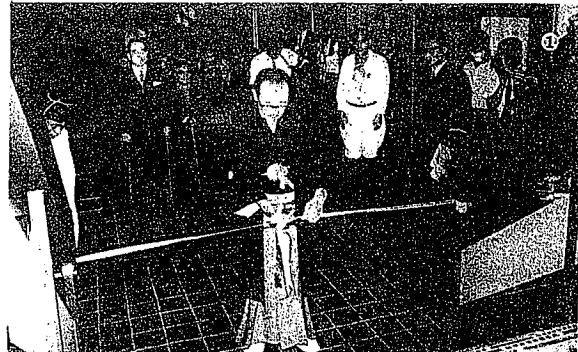
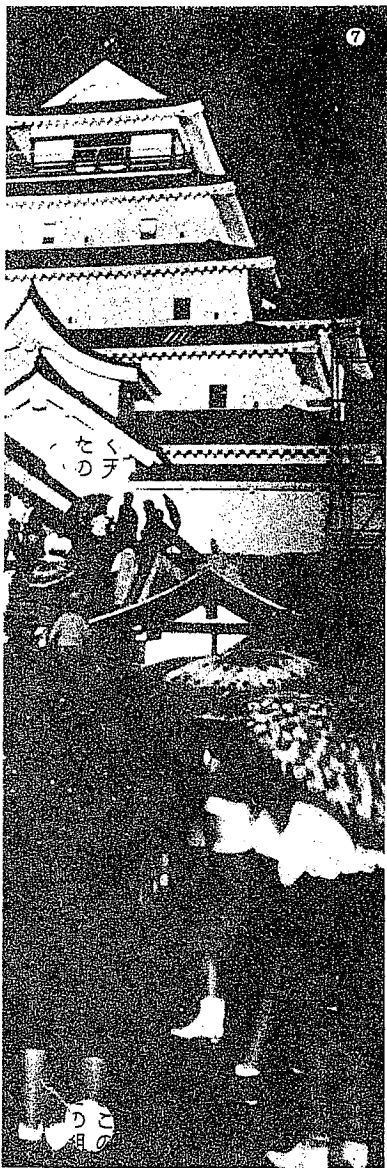
生命を捨てても完遂すべきであり、そのことによ

幾人かの老若男女の手を取ってその美しく深い誠意の結晶に心から泣いた

静かに往時を懐古し、さらには今日に至るまでの

ということを聞きました。

この感動



①九月十七日午後五時、花火が十数発激しく鳴り大太鼓が響く。走り長屋の天守閣に通じる階段前でテープを切る横山市長。ここに記念すべき大式典の幕は切って落された。

②天守閣一層で行なわれた神事。雅楽の調べとおごそかな祝詞は、この日を待ちわびた人々の胸に深くくいこんでいく。

③「多くの人々のご協力でここに天守閣は落成しました」、祭文を読みあげる市長の声もとだえがちだった。

④神戸間組社長の玉串奉奠——晴れやかな表情の中に目にはキラリと光るものがあつた。

⑤神事終了後、五層から盆地を望む、右から松平参議院議員、中村運輸大臣、木村知事、横山市長、岸市会議長。

鶴が城とぼくの家

謹教小六年 菅 桂一



全市民が久しく待ち望んでいた、鶴が城の天守閣が此のたび見事に、完成された。

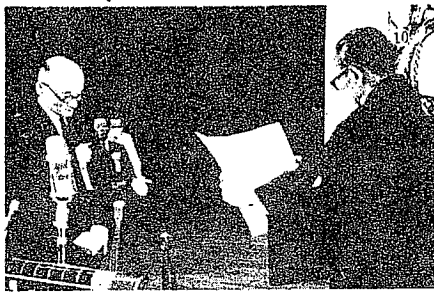
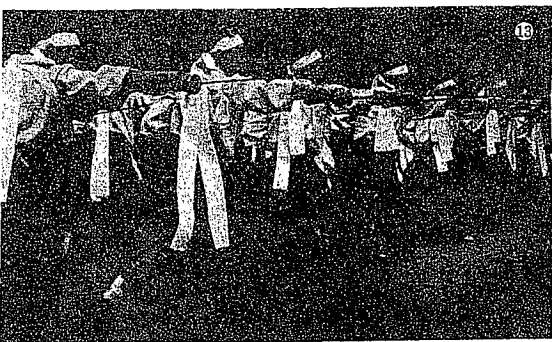
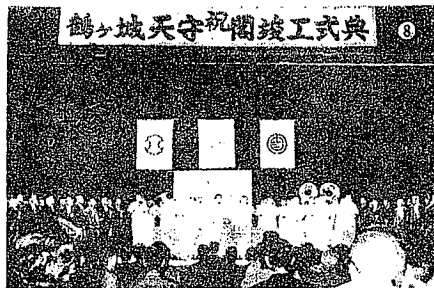
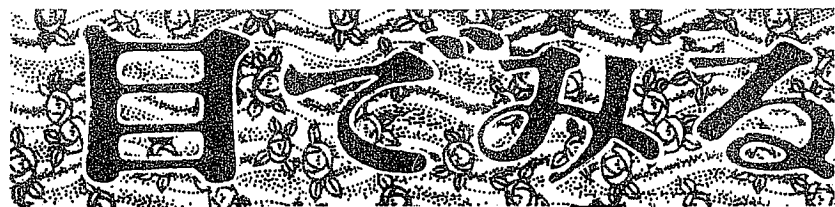
会津という名は、今からおよそ二千年ばかり前に、つけられたといわれている。この若松市は昔黒川の里といつて、声名直盛公の領地であつた。そののち伊達政宗公が城主となり、一年ばかりいたあと、天正十八年に蒲生氏郷公が城主となつて、鶴が城を改築したのである。また黒川の里の名を改め、若松としたそうである。

ぼくの家の先祖は、城に勤めていた武士と、いうことである。その人が手がらをたてた時に、との様からいただいた、かきつけがある。それには百石をあたえろと、いうようなことがかいてあるそうだ。ぼくもみてみたが、ぜんぜんなにかかいてあるか、わからない。おばあさんに聞いてみると、そのほか、いろいろなかきつけがあつたということだが、火事にあつて、今はその一つだけ残つたのだという。

またその人が、使っていたと思われる刀が、ぼくの家に二ふりある。両方とも大刀である。かた方は赤ざやでそのつばが、とてもねうちがあるということだ。もう一ふりは、この間父がかんていしてもらいにいったところ、鎌定というものだ、わかつた。もちろんほんものである。父は、刀にきょうみがあるらしく、時々手入れをしている。ぼくも、あまりわからないが、見ている。赤ざやのほうは、かざり刀ということだ。たぶんその人は、とこの間にかざつて、いたのだらう。

また、おばあさんの父にあたる人も、お城に勤めていたと、いうことだ。ぼくの、ひいおじいさんに、あたる人だ。そのひいおじいさんは、いくさに出たことがあつた、おばあさんから、聞かされたことがあつた。

このように、ぼくの家は先祖代々、お城に勤めていた、武士だと聞かされていた。ぼくの先祖が鶴が城に、ゆかりのある者だと聞いて、ぼくはなんだか、ほこりを感じながら昔のことを思いめぐらしながら、天守閣をおおぎ見ている。



- ⑥ 遠く青森県からかけつけた下北会津会の人たち。
- ⑦ 夜空にくっきりと浮かび上がった天守閣。雨にもかかわらず多くの市民が詰めかけた。
- ⑧ 舞台を市民会館に移しての落成式典全景。
- ⑨ 広い市民会館も立錫の余地もない程、喜びの人々で一ぱいである。
- ⑩ 天守閣再建に物心両面にわたり率先協力された人々に感謝状が贈呈された。
- ⑪ この日のために全国各地から出席された来賓。
- ⑫ 市長、市議員などの主催者席。
- ⑬ 会高生による白虎隊剣舞の奉祝芸能。
- ⑭ 会場前に設けられた市民御神酒場——一人一人の表情に天守閣完成の喜びがかくしきれない。

鶴が城とは、声名七代直盛が、今の鶴が城と同じ所に館をたて、東黒川城とよんだのが始まりです。しかし当時の建物は、今とはくらべものにならないほど規模が小さく、天文七年（一五三八）の火災で、焼けてしまいました。それから何年か後、天正十八年（一五九〇）蒲生氏郷が城主となり、文禄元年から、翌年にかけて、天守閣を築き黒川の町割りも改め地名を若松、城を鶴が城としました。

その後一六二七年に加藤嘉明が鶴が城に入りました。今の天守閣は、加藤が建てかえたお城と外観は同じで変わった所といえば、カワラでつくった「シャチ」が「銀シャチ」になり、赤がわらがネズミ色になったという事です。

明治二年、若松県庁が、本丸内に置かれ、明治六年十二月、大町の庁舎に引っこすまでは、県が管理をしていました。しかし管理人



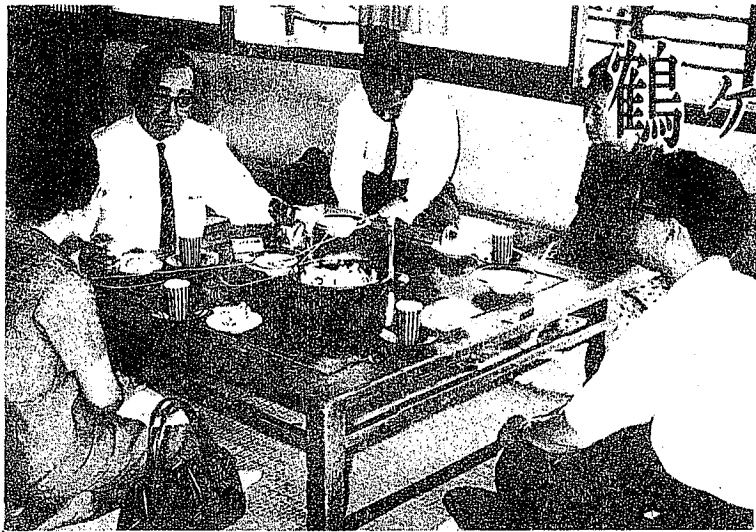
歴史の街会津若松
を育てるために
謹教小六年 佐久山 慶子

がいなくなってしまうから、お城はあるばかりです。それで明治七年七月鶴が城はなかばあとかたもなく、取りこわされました。それから九十二年、再び鶴が城が築かれました。それは、名城鶴が城の名にふさわしいりっぱなものです。本丸内にさん然とたつ鶴が城。

鶴が城再建という会津の人々の願い、その願いが、今年やっとかなったのです。りっぱなお城も、みんなの心しだいが変わるものだと思えます。これからも奉仕に勤めたいと思えます。いつまでも、名城鶴が城という名にはじないよう

に、りっぱなお城であってほしい。これは、私の考えではありませんが、会津の人々みんなの考えもそうだと思います。白虎隊で有名な会津若松。

鶴が城の再建によって、美しいお城をもち、白虎隊のたくましい精神を受けつぐ私たちは、会津に生まれたい誇りと希望をもって、歴史の町、会津若松をよりよい町に発展させていきたいと思っています。



天守閣完成の喜びで話題つきない座談会

鶴城復元に至るまで 市長を囲む座談会

白虎隊死守の天守閣 百年目に竣工

お城を見ながらの座談会ということで、城跡内の西沢別館にお集りを願った。

まず九時十分、田中先生が到着、次いで高橋さん、舟田さんと、出席者がそろったところで、九時三十分から竹田秘書課長の案内で天守閣の内部を見学していただいた後、十時から座談会に入った。

史料を保管するため

初めの計画は博物館

市長 私が天守閣の復元を考えたのは、最初からでは設がないため、年々なくなっていく。これではいけないと考へ、後世の資料として完全に残すためには博物館建設が必要と考へた。

しかし本市の財政事情からして、博物館を作るに必要な一億円余りの高額なお金を作り出す余裕は、二十年先きの財政を見通しても、とうてい不可能なことだった。

困ったと思っている時、私の脳裏に別の考へがうかんだ。それは天守閣が破却にいたった悲史ですね。

天守閣は明治七年、時の政治権力によって取りこわされたものなんですね。しかもその時、我々の先輩は再三再四、涙の嘆願をしてますよ、政府に対して天守閣だけは残してくれと……

ところが、山県有朋が一番会津藩を憎んでいた、軍閥をかさねたことをきかされた。そのために政府はやむなく天守閣破却の命をくだしたのです。それで会津の……

天守閣とお別れのために二十一日間にわたって博覧会を開いてもらうよう嘆願し許してもらった。会津の民は涙の訣別をした。これが悲史なんですね。

天守閣を作るにあたって一部の人人から、荒城の姿をそのまま残しておくべきだ、手をつけるべきでないという意見がありました。しかし、それは、天守閣が戦争によって焼失したり破壊された場合だと思ふので

戦争で焼失したりこわされたのではなく、平和になつてから薩長政府の会津に對するにくしみから、すなわち会津おそろしさに、政治権力でこわしたものである。だからこれを復元することが、当時悲憤の涙で別れを惜しんだ人々に対する我々の報いる道であると考えたのです。それから、白虎隊士は天守閣が落ちたと認めて割腹した、その気持は無視してはいけない、という議論もあったが、白虎隊士が命をかけて愛したほどの天守閣ならば、天守閣を復元することによって、その霊をなぐさめる必要があると思ふのです。

話をとにもとずと、一史があるんだから、ない方つは博物館をどうして作るかということ。ところが、先にもいったように、金がかかるので、こういう事業は寄付、補助、政府の起債によらなければならぬ。ところが博物館を建設するから寄付、となるとお金を出す人はごく少数なんだ。

そこで考へたのは、先人の霊をなぐさめるために天守閣の復元をはかると同時に博物館の構想をそれに結びつけたんです。天守閣なら庶民的に人気もあるし、そこに理解も協力も生まれてくる、寄付も集まるといふことなんです。そこで天守閣を建てて内部を博物館にするという一石二鳥の考へを持ったことが、天守閣の復元に踏み切った動機なんです。

田中 たしかに真実の歴史を知らない人は、落城の悲泣かされた数々の寄附

泣かされた数々の寄附

高橋 私の方の婦人会は、天守閣再建賛成の署名運動をしたんですが、これに署名したら寄附を取られるでしょうとみなさんおっしゃるのです。どなたも寄附のことが一番心配だったので

市長 そこで寄附のことで考へていただきたいことは私はこの天守閣建設で、もちろん寄附をあてにしましたが、当時から私がいつていたことは、今までのPTAの寄附や義務的の事業の寄附のように、この町内いくつらとか、どこか組合いくつらなどという割に寄附

特定者だけなんです。高橋 築城がはじまって来たら、婦人団体でも何かご協力したいと思うので、名士演芸会を開いて、ご協力したようなわけですけどね市長 あの名士演芸会の利益を、少額ですが……

代表の方々が持つて来られましたが、少額どころじゃありません。この金を集めるには婦人会の役員の方々が、おそろく十日位かかったと思う。役員の方々の寄附を集めた苦労がよくわかる。そうした精神的苦勞によつて集まった収獲と考へると少額どころではありませんよ。それからもう一つ重大な意義があります。それは婦人団体が天守閣に協力しているという、この姿勢です。これが自発的寄附のムードを作る大きな力になったんです。その点では本当に感謝しました。それに続いて花柳流や西川流の舞踊大会が次から次へと賛同していただいて、ご芳志がありました。これがまた寄附ムードに力になったんですよ。

高橋 そんなに高く買つていただいて、ありがたうございます。お役に立たなかつたんじゃないかと思つていました。……

感無量、許可は原型復元が条件

再建で多くの問題

舟田 これまでの苦勞を考へて喜びひとしおと思ひます。……市長 喜びは感無量の一に話したら、当時の田島会頭が賛成して多くの人々に引きかけた。昭和二十九年三月市会には天守閣復元が

横山市長



舟田さん



田中さん



高橋さん



議員から提案され、満場一致で決議されたのです。それから昭和三十三年九月、再び市長になってから戊辰戦役九十周年祭が行なわれ、その際再建案が協議されました。そこで三十七年に市の教育委員会に命じて、文部省の文化財保護委員会に再建の申請書を出したのです。ところが文部省は、学問的に時代考証をした原寸原型の復元ならば許すという事になったのです。この復元には東京工大の藤岡博士に設計から監督まで依頼して建てたもので、この天守閣は原型そのままであるという事を知って下さい。それを知らないで、小さいとか窓が少なくて、よその天守閣は石垣一ぱいに建てているが、こゝは石垣をあましていないので、あれは予算が少なくて話していた。新聞で天守閣復元のことを知った。おじいさんは亡き人であるが私はおじいさんの天守閣に對する考えというものに協力する機会が与えられたと思うので送るというのです。おじいさんが会津の出身だということだけで、寄附されたことに對して泣かれましたね。こうして数々の思い出が、今、目とじて落成の喜びをかみしめる中にうかんで来ますね。喜び

陳列は格調高い会津の文化財

歴史の殿堂としても

の再建、復元をとわず、本漆喰を使ったのは鶴ヶ城だけですよ。全国で、他のは全部白色セメントですからね。鶴ヶ城の場合は誇り得るものですよ。それから木材をあれたたくさん使ったお城もどこにもありませんよ。高橋 内部は木の香りが良く、洪くともいい色調だと思つて来ました。市長 よその天守閣と比較してもらえばわかります。飾り鉾がもしあったとしたら、金の鉾なら金のもので、鉄で五分厚さのものなり、それを使つて下さいと注文して、実際にそれを使っています。また将来、国の博物館法による博物館にするための運動を起こします。そうするに博物館法にそつた品物を陳列しなければいけない。そういう点で、各方面から寄付の申しこみはあつても受け入れられないものも相当あります。高橋 陳列品の説明など、小学生にもわかるように解説をやさしくしてもらいたいですね。市長 わかりました。舟田 入場料金が八十円というのは、どこに規準をおいて決められたのですか。市長 これは全国の天守閣をみて、最高は六十円で料金の改正をしていなくて前

年次計画で鶴ヶ城を整備

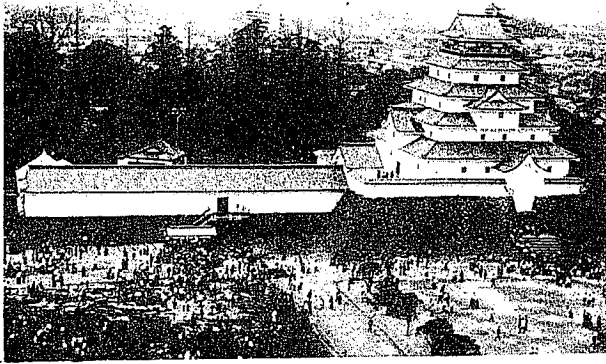
次第に昔の姿に

のままだんです。それはして陳列している。文部省の収入が多いから、いそのままにしておくんではない。今なら五百円取つてもいい。田中 貴重な陳列品をいつまでも気軽に見られるというところがいい。また陳列品があつても、ただ珍らしい品物があるというだけで博物館法にそつたものではないのです。こゝちは立派に法にそつたものを厳選よ。田中 城内の美的感覚からいって、城跡内の民家などはどうなるのですか。市長 これは現在交渉中ですが、全部なくなりますが、高橋 休憩所なんかはどうですか。市長 これは市が城跡にふさわしい設計のものを建てます。舟田 月見櫓や茶壺櫓などに、今後の計画はどうですか。市長 月見櫓や茶壺櫓などは不十分だから城内の完全整備をやるべきである。意見が出まして、第二次、第三次計画をもつてお城全体の整備を考えています。しかし、これも文部省の許可なくしてはできません。許可を得てから、お話ししかりを受けたんです。史跡指定地に固定するものを作つてはいけないという車の場やレストハウスなど、さらには廊下櫓も時代考証をして原型どおり復元します。博物館には年中同じものを陳列せず、年に二回ぐらゐ内容を変えること、一度来た人もまた来るようになるし、教育上からも新

す。高橋 カゴでもよいですか、よく整備してもらえらば……。田中 天守閣の年間収益はどの位になるでしょうね。市長 少なくとも年間実収三千万円以上にはなるでしょう。年間観光客が百二十万人来ているというのですから。ことしと来年、会津の人が一度来てても、百万人は来ることになるでしょう。そうすると八千万円になりますから、たしかです。舟田 おそらく、会津の人は一人残らず来るでしょうから、大丈夫です。市長 照明塔ができていますから、大丈夫です。高橋 夜の照明はどうなるのですか。舟田 入場時間や規則は。市長 午前八時三十分から午後五時まで入場できます。入場はくつやザウリの方は土足でも入れますが、グタバキの方はスリッパにはきかえていただきます。一同 今日はいろいろお話を聞かせていただいたて、ありがとうございます。市長 こちらこそ、お話ししたいところをありがとうございます。今後ともよろしく協力ください。

出席者

- | | |
|----------|------|
| 会津若松市長 | 横山 武 |
| 会高教諭 | 田中 貢 |
| 主 舟田 婦 | |
| 主 舟田 ハル | |
| 主 高橋 キミエ | |



空から見た天守閣 (23日午後2時写す)

天守閣入場者数八千四百五十五名、総収入五十八万六千十円。二十日入場者数四千四百九十七名、総収入三十五万五千二百円。二十一日は入場者数四千五百五十二名、総収入三十二万五千二百円。二十三日は、今年初めての試みとしておごそかに行なわれたのは神楽、天守閣の五層から本丸へ下りて放されたこと



3日間盛大に行なわれた盆踊り

この一週間の素顔

天守閣 初日に四千人入場者

天守閣が一般 十万六千七百七十円にのぼる。この日を待ちわびた市民は、開門と同時に続々と入場した。県外の団体客も次々と訪れ、この日の入場者数三千九百三十二名、総収入三十一万九千三百三十二円。二十日入場者数四千四百九十七名、総収入三十五万五千二百円。二十一日は入場者数四千五百五十二名、総収入三十二万五千二百円。二十三日は、今年初めての試みとしておごそかに行なわれたのは神楽、天守閣の五層から本丸へ下りて放されたこと

この日を待ちわびて



本丸での茶会

天守閣入場者も昨日に引き続き、大盛況で、入場者九千八百三十六名、総収入七十二万四千四百八十円を数えた。開城を記念して行なわれ

である。家臣の一人が、馬ですばやくかけより神矢をひろって市長に手渡すと、周囲から大きな拍手がわき起った。出陣の儀も済み、いよいよ白虎行列の出発である。天守閣を一目見るために集まったので、こんなと涙を流して話していた。夜は盆踊り大会が行なわれ、天守閣落成を祝う人々は四重、五重の踊りの輪を作りおそくまでにぎわった。二十四日会津まつりの最終日である。午前十一時から白虎隊墓前祭が行なわれ、隊士の霊をなぐさめるとともに天守閣落成が報告された。

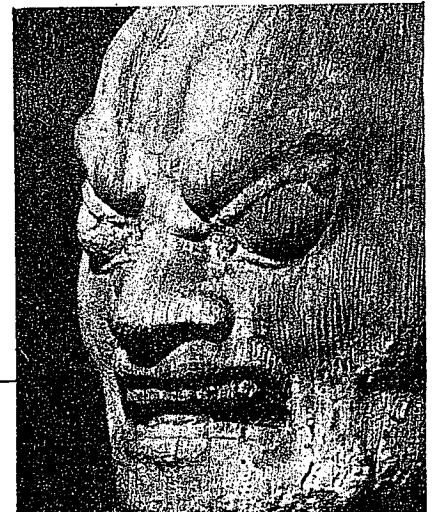
会津の歴史を知るために

会津若松史 全13巻

会津若松史のずっしりとした重み、そのままたの手に書かれた会津の歴史の重味です。豊富な図版とやさしい文章——それは高校生でも気軽に読みこなせます。会津若松史の静かなムードは今や全国の大学や図書館、そして研究者の間にひろがり、そして今や遠く海外に渡って米国のハーバート大学からも注文を受けています。

全巻予約者以外はお分け出来ません。

- ◆予約希望の方は葉書に住所、氏名明記の上全巻予約すると書き、至急申込み下さい。残部極少。
- ◆パンフレット希望者は、申込下さい。通史・史料編 1,500円 別巻 2,000円 別巻 100円
- 申込先 会津若松市東栄町3-46 会津若松市役所内会津若松史出版委員会 TEL 26115





心に鳴らせ交通安全の鐘

— 交通ルールをよく守ろう —

秋の交通安全運動が九月二十五日から十月四日まで十日間、心に鳴らせ交通安全の鐘をスローガンにくりひろげられています。市内ではことし一月からすでに二百六十四件の事故が発生し、死者五名、負傷者二百五十四人を数えています(九月二十五日現在)。

今回の運動では人命尊重の考えを徹底させるために歩行者の交通事故をなくし、運転者には正しく安全な運転の指導に全力があげられています。

運転手の雇主は...

①運転手が睡眠不足や二日酔いなど、正常な状態ではない場合は、ゆっくり休ませる。また、会津若松警察署でから運転させること②酒のみのみ、無免許運転は絶対だ。観光客に笑われたいやせないこと③スピード違反に、歩行者も運転する人を誘発するような時間の拘束をしない、時間に余裕をもち、呼びかけていることを守る。

運動目標は①歩行者の正しい横断②正しく安全な運転③踏切の安全確保④安全運転管理と運行管理体制の強化⑤道路を広く美しくの五項目です。

歩行者は...

①道路を歩く時何列にもなつて歩かないで、必ず右側を一路に並んで歩くこと②道路を横切る時は必ず横断歩道を渡ること。横断歩道のないところでは、車の直前直後は歩かず、左右をよく確かめてから横断すること③信号機に従って「青」になってから歩くこと④幼児をつれて歩く時は、幼児を車道から一番遠い側を、保護者は車道側を手をつないで歩くことです。

運転者は...

①速度制限を守る。スピード違反は事故のもとです②横断歩道の直前(停止線)で一時的停止し

みんなの胸に赤い羽根

秋、澄みわたる青空、そのあたたかな心を持ちよして目にしむ赤い羽根の色...それが共同募金運動...十月一日から赤い羽根です。

共同募金運動がはじまりました。あかるく、美しく、みんな、なほ、昨年度の市の各施設なをろって幸せにと、お互設その他に対する配分額と

39年度共同募金配分及び40年度申請額調査

区分	39年度配分	40年度申請額	摘要
保育所	837,900	2,659,590	9カ所
母子寮	111,600	227,300	2 "
長寿園	272,300	150,000	1 "
児童園	84,600	2,300,000	1 "
授産場	59,800		1 "
季節保育所	38,000		11 "
児童遊び場	40,000		2 "
和光寮	80,000	150,000	1 "
協他	1,477,718	1,201,000	
計	3,197,318	6,687,890	

○ジフテリア予防接種日程○

場所	接種目	時間
永和小学校	11月11日	13.30~14.30
神指連絡所	"	14.00~15.00
一箕公民館	12日	13.30~14.30
東山連絡所	"	14.00~15.00

門田公民館	13日	13.30~14.30
鶴城小学校	"	14.00~15.00
日新小学校	14日	13.30~14.30
城西小学校	"	14.00~15.00
城北小学校	15日	13.30~14.30
行仁小学校	"	14.00~15.00
謹教小学校	16日	13.30~14.30

今年度の配分申請、別表のとおりです。ことしも、いっそうの努力添えをお願いします。

無料のジフテリア予防接種を実施

該当者 来年四月小学校へ入学する者 ▽手数料無料 ▽注意 検査日には必ず母子手帳または予防接種手帳をお持ちください。都合のよい会場で受けることができます。

麦種子の消毒

農事メモ

麦類は種子から薬液に三十分から一時間ひ伝染する病害がきたし、種子の外部に寄生している病菌を殺しておき、その度さらに風呂湯(大麦、裸麦、稈麦、稈氏四五度、小麦、稈氏四六度)に調整して火を完全(大麦斑病、赤い雪腐病、赤かび病、大麦網斑病および雲形病など)病害が多いので、消毒の注意として、七、八時間たつてからとりだして、むしろにひろげて陰干しするか、すぐほ種想的な方法としては、水銀剤(メル、ウスブリン、リオゲン錠など)を千倍から二千倍液とし、薬剤によって使用量とひたす時間が正確に行なうことがたいせ多少異なっていますが、このつです。

果樹園の清掃

果樹園内の清掃は、翌年の病害虫の発生に直接関係もあるし、落葉も有機物の補給にたいじな仕事です。気温がさがるにつれて、葉が落ち、いろいろな病害虫のよれ越冬の場所になります。このような落葉を処分することはたいせつなことです。

落葉をかき集めて焼き捨てることは完全な処理の方法ですが、果樹園に有機質を補給する点から考えるに必ずしうは必ずしうして焼却し、ところどころにタコツてくたさい。(市農業指導課)